

2018年（平成30年）3月22日（木曜日）(5)

私たちの生活中には多くの不平、不満、苦情、咳き、コンプレインがあります。見過せばいい些細な事にも、敢えて不平を並べ立てることもあります。また、不幸にして人格を傷つけるような咳きもあります。不平不満は自分の要求通り物事が進まない時に起ります。不平不満が段々と熱っぽくなると、感情的になり怒りとなつて始末の悪い結末になる時もあります。これらは私たちがよく経験することです。

聖書の中にも不平、咳きの例があり、聖書はそれを『罪』と称し、クリスチヤンはその教えを大事にして、不平不満、咳きの民に落ちないように努力しています。この咳きを吐き出す舌を制する合はう事は、美しく、生産性が人はいない、小さな火でも大きな森を燃やすように、舌は火であり、不義の世界であ

る、と聖書は言います。耳の痛い言葉です。

不平不満、咳きは利己的であり、生産性がなく、ギクシャクした人間関係を作ります。コミュニケーションの間でも、お互いにつつき合い、罵り合い、積極的な励ましがな

ります。

者となりたいと願います。ま

します。

ある人の体験からなるほど

りかないと。

しかし、走り続けながら、

た、自分自身を励ます者となることも大事ではないでしょ

うか。

と思わされた話があります。彼はハーフ・トライアスロ

ン大会に挑戦しました。1・

「あなた、このレースを完走

するよ、暑いけど雨はない、

出稼ぎに来たキヤディーに最

いでね、最後までレースを走

りかないと。

初に教える日本語は「先生、

孙のいる66歳の女性ランナ

ーを追い越そうとした時です

ゴルファーから聞いた話で

すが、東南アジアから日本に

来ました。

2マイルを走り、56マイルをバイクをこぎ、残る13・1マイルを走れば完走することになつたが、疲れ果ててどうしても余力が絞り出せない、ここで投げ出すしかない、と考えながら走り続けました。

そこに、レーサーの一人が走り寄つて來たので、こう尋ねました。「しまった、これは後悔先に立たず！」

そのレーサーは言いました、「このレースに参加したのは全く馬鹿げたことだ、

「This Stinks」と。この言葉は、自分も走る気力を失いかけます。だから、あなたがたは、今しているように、互いに慰め合い、相互の徳を高めなさい。」（新約聖書）

南加キリスト教教会連合

前原 利夫

不平不満か励まし合いか

く解決を図らずにいる場合がないでしようか。

次は絶対大丈夫です、頑張つて下さい」とキヤディーはゴルファーを励ますのだそうですが、「あなた、これだめだよ

う」とは教えないでしよう。

励ましです。お互いに励まし合はう事は、美しく、生産性がちょっとした小さな言葉、表

現が私たちにヤル気を起こさせ、士気を高めることを体验

をしていると、彼のようにな